



令和7年度 シラバス

第2学年



北海道平取高等学校

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	2	使用教材	新編 論理国語
					必携国語総合セミナー
科目	論理国語	単位	4		

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2)	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
B	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
C	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

3 学習方法

- 学んだことをノートなどに記録する - 単元テストに向けて学びをまとめる - 課された課題を期限内に適切に提出する - タブレットなどを適切に使用する - 適切な文字を丁寧に書く	
--	--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	論理と出会う	読む 5	a	言葉の働き、文章の展開・構成を理解できている。	観察 ワークシート 単元テスト
	知の登山、知の水路 「論理的な人」とはどういう人か	読む 6	b	論旨を把握し内容や構成を的確に捉えることができている。	
			c	自分の思いを深め、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	
	具体と抽象	読む 7	a	文章の構成や展開の理解を深めている。	
	ウサギの耳はなぜ長い？ 記号的メディアと物理的メディア	読む 7	b	主張の根拠を批判的に検討しつつ、要旨の把握をしている。	
			c	具体と抽象についての関係を捉えようとしている。	
	対比をとらえる	読む 8	a	言葉の働きを理解し効果的な文章の組み立てをしようとしている。	
	総探③	読む 8	b	要旨から自分の考えへとつなげることができている。	
			c	対比の関係を理解しようとしている。	
	具体と抽象	書く 9	a	重要度に基づく情報の差別化を理解できている。	
			b	書き手の立場、意図、目的を理解できている。	
			c	具体と抽象の関係を捉えようとしている。	
	対比をとらえる	書く 6	a	学術的な学習で使用される語彙量を増やすことができている。	
			b	批判的に読まれることを想定した文章が書けている。	
			c	対比の関係について理解しようとしている。	
	主張をつかむ 総探③	読む 12	a	推論の仕方について理解を深めている。	
			b	論拠に対し批判的な検討ができている。	
			c	主張と根拠の関係を捉え、筆者の考えを読むことができている。	

	論理的に書く 総探④	書く 5	a b c	情報と情報の関係の理解ができて いる。 主張に強い根拠を持つことができ ている。 互いの文章に建設的な考えを書く ことができています。	
--	---------------	---------	-------------	--	--

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	論理的に書く	書く 5	a b c	情報と情報の関係の理解ができて いる。 様々な角度から物事の検討ができ ている。 互いの文章に建設的な考えを書く ことができています。	観察 ワークシート 単元テスト
	統計資料を活用する	読む 11	a b c	文と文章の効果的な組立て方や接 続の仕方について理解を深めてい る。 書き手の主張と、その根拠につい て批判的に考えることができる。 どのような観点を設定することが 必要なのかを考えようとしてい る。	
	統計資料を活用する	書く 4	a b c	文と文章の効果的な組立て方や接 続の仕方について理解を深めてい る。 主張を支える適切な根拠をそろえ ることができる。 自分の主張を効果的に伝えるため の表現技法を使用し文章を書くこ とができる。	
	思考を深める	読む 16	a b c	主張をする際に効果的な展開のし かたについて考えることができ る。 様々な角度から同じことを主張す る方法を考えることができる。 筆者の主張を支える根拠・論拠を 捉えようとしている。	
	文章を読んで書こう	書く	a	課題文に関連する本を読み、その	

		8	b なかで読書の効用について説明することができる。 b 自分の主張を効果的に伝えるための表現技法を使用し文章を書くことができる。 c 相互の意見から自分の考えをより深めることができる。	
	統計資料を読んで書こう 総探④	書く 5	a 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 b 自分の主張を効果的に伝えるための表現技法を使用し文章を書くことができる。 c 資料の中の論点となる部分を見いだすことができる。	
	現代を考える	読む 10	a 情報を整理しまとめる方法に工夫をすることができる。 b 関連する文章を読み、比較検討することで自分の考えを深めることができる。 c 現代社会の特徴をとらえ、自分の人生観の育みに役立てることができる。	
	話し合って考えを深めよう	書く 8	a これまでの学習を生かし、根拠をもった考えをしながら話し合いをすることができる。 b 他者へ的確なアドバイスをしたり、新たな観点を持ち文章を書き直すことができる。 c 積極的に学習に取り組むことができる。	

令和7年度年間計画

教科	国語	学年	2	使用 教材	精選 古典探究 古文編
					精選 古典探究 漢文編
科目	古典探究	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
B	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
C	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習方法

(1)	授業の理解に全力を注ぐ。授業に集中して取り組むことが最良の学習方法です。
(2)	考えを伝え合う。言葉で表現することをたくさん行いましょう。音読も伝える練習の一環です。
(3)	プリントを創る。単に板書を写すだけのものではなく、授業内容と家庭学習が一貫して使える工夫が必要です。自分独自のプリントを「創って」いくことによって理解が深ま

ります。

(4) 家庭学習をする。国語は家庭学習を疎かにしがちです。単語、文法など毎日取り組む努力をお願いします。

(5) 単元テスト、模試を活用する。自分の学んだことがどのくらい定着しているのかを測る機会です。テスト前の取り組み、テスト後の振り返りを疎かにしないでください。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
前期	説話 古今著聞集 「大江山」 物語 伊勢物語 「筒井筒」	17	和歌を含んだ説話、物語の構成を的確に捉えながら読み取る。 【知識・技能】 ・助動詞 ・和歌の修辞法 【読む：構造把握】 ・構成や展開 □対面授業① □単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	随筆 方丈記 「安元の大火」	9	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえつつ古典などを読み、その内容の解釈を深める。随筆で表現された筆者の考えをもとに、自分の考えを相手に伝える。 【知識・技能】 ・助動詞 ・指示語 【読む：内容把握】 ・作品の成立背景との関係を意識して内容の解釈をする。 【書く：意見をまとめる】 ・筆者の考えを踏まえて自分の考えを記述する。 □単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 意見文の作成物 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準	評価方法
後期	史伝 史記 「鴻門之会」 剣舞	11	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえつつ古典などを読み、その内容の解釈を深める。時代背景や登場人物に興味をもち各陣営の戦略や	a 小テスト・ 単元テスト b プリントへの記述状況

			人物の心情・行動を読み取る。 【知識・技能】 ・ 漢文訓読 ・ 漢文句形 ・ 作品の種類とその特徴についての理解 【読む：内容把握】 ・ 内容を的確に把握。 【読む：解釈】 ・ 内容の解釈 □対面授業② □単元テスト	c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	敬語	6	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 【知識・技能】 ・ 尊敬語、謙譲語、丁寧語 ・ 敬意の方向	a 小テスト 確認プリント
	随筆 枕草子 「中納言参り給ひて」	11	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深める。 展開のおもしろさ、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する。 【知識・技能】 ・ 尊敬語、謙譲語、丁寧語 ・ 敬意の方向 【読む：内容把握】 ・ 敬語に注意して内容を的確に把握 【読む：精査】 ・ 文章の展開、表現の特色 □単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 内容理解の作成物 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況
	思想 儒家・道家の思想 論語「子曰富与貴」 孟子「不忍人之心」	7	古代思想家の考えの違いを理解し、ものの見方、考え方を豊かにする。 【知識・技能】 ・ 先人のものの見方考え方 【読む：考えの形成】 ・ 諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察 □単元テスト	a 小テスト 単元テスト b プリントへの記述状況 c 取組への状況、振り返りシートの記入状況

令和7年度年間計画

教科	地理歴史	学年	2	使用 教材	高等学校 新歴史総合
					明解歴史総合図説シンフォニア
科目	歴史総合	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成する。	
(1)	近現代の歴史的諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から理解し、諸資料から情報を適切に調べ、まとめる技能を身につける。
(2)	歴史的事象の意義、特色などを、年代、推移、比較などに着目して多面的・多角的に考察し、それを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3)	歴史的事象を、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	歴史的事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
B	近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる諸課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につけている。
C	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身につけている。

3 学習方法

歴史に関する基本的な知識を身につけるとともに、現代の世界の動向に目を向ける意識を持つ。

・現代社会の事象を、諸資料を用いて歴史的背景や諸地域間の関連と結び付けて考察する技能を習得する。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	第1部 歴史の扉 総探①②③④	6	a	諸事象と歴史とのつながりを理解し、歴史は遺物、文書、図像などの資料に基づいて叙述されていることを理解する。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	歴史の変化と身近な諸事象と地域性の関連性を考察し、資料から読み取った情報の意味や特色などを考察し表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 第1節 18世紀のアジアの繁栄	6	a	18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジア経済と社会を理解する。	
			b	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
	第2節 工業化の発展と 国民国家の建設			産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成	

				を理解する。	
			b	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
第3節 結び付く世界と日本の開国	6	a	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。		
		b	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。		
		c	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		
第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	6	a	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。		
		b	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察		ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト

	近代化と現代的な諸課題	4		し、表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
			a	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	
			b	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会	5	a	第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立や大衆の政治参加、大量消費社会と大衆文化、マスメディアの発達などを基に、国際協調体制と大衆社会の形成を理解する。	
			b	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
			c	諸資料を活用し、課題を追及した	

				り解決したりする活動に主体的に取り組む。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
第2節 経済危機と第二次世界大戦	6	a		世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。	
		b		経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c		諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
第3節 第二次世界大戦後の世界と日本	5	a		第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	
		b		第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c		諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	

国際秩序の変化や大衆文化と現代的な諸課題	4	a	自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
		b	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
	6	a	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理や西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその後の波及、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容や世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	
		b	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響や冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因や冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c	諸資料を活用し、課題を追及した	
第3章 グローバル化と私たち 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭				

			り解決したりする活動に主体的に取り組む。	
第2節 世界秩序の変容と日本	5	a	石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展や冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、市場経済の変容と課題や冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	
		b	アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響や冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割や冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c	諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
現代的な諸課題の形成と展望 総探①②③④	4	a	持続可能な社会の実現を視野に入れ、自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。	
		b	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。	
		c	諸資料を活用し、課題を追及した	

			り解決したりする活動に主体的に 取り組む。	
--	--	--	--------------------------	--

令和7年度年間計画

教科	公民	学年	2	使用教材	高等学校 公共
					公共資料集 考えを深める 50 テーマ
科目	公共	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切にまとめる技能を身につける。
(2)	現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
(3)	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として必要な資質を身につける。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめている。
B	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。
C	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 学習方法

- 現代社会に関する基本的な知識を身につけるとともに、世界の動向に目を向ける意識を持つ。 - 現代社会の事象を、諸資料を用いて考察し、より良い社会の実現に主体的に関わろうとする姿勢を習得する。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1部 私たちがつくる社会 第1章 社会の中の私たち 第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会 総探①②	6 3	a	・自らの体験などを通して、自らを成長させる人間としての在り方・生き方について理解している。 ・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重できることを理解する。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	社会に参画する自立した主体としての自分を、集団の一員として捉え、他者との協働を意識し、社会を多面的・多角的に考察している。	
			c	公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第2章 思想から学ぶべきもの 第1節 倫理的な見方・考え方 総探①②	5	a	現代の諸課題について自らも他者とともに納得できる解決方法を見出すことに向けて、個人や社会全体の幸福を重視する考え方を身につけ、よりよく生きるために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につける。	
			b	倫理的価値判断において、行為の動機となる公正などを重視する考え方を活用し、概念的な枠組みを活用して考察する活動を通して、人間の在り方・生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第3章 私たちの社会の基本原則 第1節 社会の基	9	a	人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間	

	本原理と憲法の考え方			における根本原理について日本国憲法を踏まえて理解している。	
			b	公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みを活用して考察する活動を通して、人間の在り方・生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	
			c	公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第2部 社会のしくみと諸課題 第1章 私たちと法 第1節 法の意義と司法参加	7	a	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第2章 私たちと政治 第1節 民主社会と政治参加	7	a	政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、より良い社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意形成することなどを通して築かれていくものであることを理解している。	
			b	自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構	

				想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第2節 国際政治 の動向と平和の追求	8	a	国家主権、領域、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、より良い社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることを理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 単元テスト
			b	自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	国家主権、領域、日本の安全保障や防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第3章 私たちと経済 第1節 市場経済 のしくみ	8	a	市場経済の機能と限界、金融の動き、財政及び租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が	

				担ってること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。	
			b	自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	国家主権、領域、日本の安全保障や防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
	第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ	8	a	市場経済の機能と限界、金融の動き、財政及び租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担ってること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。	
			b	自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	国家主権、領域、日本の安全保障や防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	

第2節 豊かな社会の実現	7	a	職業選択、雇用と労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。	ペアワーク グループ討議 レポート 学習の振り返り 单元テスト
		b	自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したことを、論拠をもって表現している。	
		c	国家主権、領域、日本の安全保障や防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
第3節 国際経済の動向と格差の是正	6	a	経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。	
		b	自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構	

				想したことを、論拠をもって表現している。	
			c	国家主権、領域、日本の安全保障や防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	
			a	第 1 部、第 2 部の学習を振り返りながら、地域の創造、より良い国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見出している。	
			b	第 1 部、第 2 部の学習を振り返りながら、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	
第 3 部 持続可能な社会の実現に向けて 総探①②③④	4		c	第 1 部、第 2 部の学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けて役割を担う、公共の精神を持った自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	2	使用教材	新編 数学Ⅱ
					新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅱ
科目	数学Ⅱ	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	いろいろな式及び図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力と、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
(3)	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	・いろいろな式及び図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
B	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。
C	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、宿題・単元テストの実施など

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 1 3次式の展開と 因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式と その計算 5 恒等式	3 2 3 3 3	a	3次の乗法公式や因数分解の公式を用いて、計算することができる。 - 二項定理を用いて、式を展開することができる。 - 分数式の約分や通分ができ、分数式の四則計算をすることができる。 - 多項式において、$A=BQ+R$ の関係が成り立つことを理解し、多項式の除法を計算することができる。 - 分数式の約分や通分ができ、分数式の四則計算をすることができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
	第2節 等式・不等式の証明 6 等式の証明	3	b	- パスカルの三角形の数の並び方を考察し、式の展開に活用することができる。 - 多項式の除法について、数の除法と関連付けて考察することができる。 - 分数式について、数の四則計算と関連付けて考察することができる。	
			c	パスカルの三角形の数の並び方を考察し、式の展開に活用しようとしている。	
			a	左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明することができる。	

7	不等式の証明	4	b	・左辺と右辺の差や左辺の2乗と右辺の2乗の差をとることで不等式を証明することができる。 ・相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。 ・等式の証明について、論理的に考察することができる。 ・不等式の証明について、論理的に考察することができる。	
第2章 複素数と方程式			a	・複素数の相等を用いて、問題を解くことができる。 ・虚数単位を用いて、複素数の計算をすることができる。 ・共役な複素数の性質を用いて、複素数の除法を計算することができる。 ・解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解を判別することができる。 ・2次方程式の係数を基にして、解の和と積を求めることができる。また、それを利用して式の値を求めることができる。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解することができる。 ・与えられた2数を解とする2次方程式を求めることができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
第1節 複素数と2次方程式の解					
1	複素数とその計算	4			
2	2次方程式の解	4			
3	解と係数の関係	5			
			b	・実数の範囲では解けない2次方程式について、2乗して-1になる数を用いて考察することができる。 ・2次方程式の解の種類について判別式を用いて考察することができる。 ・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について考察することができる。	

			c	• 定理の証明に、座標を活用することができる。 • 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。	
	第2節 円		a	• 与えられた条件から円の方程式を求めることができる。	
	5 円の方程式	3			
	6 円と直線	3		• 円の方程式から円の中心の座標と半径を求めることができる。	
	7 2つの円	2		• 円と直線の共有点の座標を求めることができる。	
			b	• 円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号から考察することができる。	
	第3節 軌跡と領域		a	• 不等式が表す領域を図示することができる。	
	9 不等式の表す領域	5		• 連立不等式が表す領域を図示することができる。	
	8 軌跡と方程式	3		• 与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。	
			b	• 座標平面上の点の集合について不等式の解として考察することができる。	
	総探②③④		c	• 軌跡が表す図形について考察しようとしている。	

令和7年度年間計画

教科	数学	学年	2	使用教材	新編 数学 B
					改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学 B
科目	数学 B	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3)	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
B	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている
C	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 学習方法

対面授業、グループワーク、ワークシート（振り返りシート等）の利用、情報機器の利用、小単元テストの実施など
--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1章 数列		a	・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小単元テスト など
	第1節 等差数列と等比数列				
	1 数列と一般項	2	b	・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。	
	2 等差数列	2			
	3 等差数列の和	3	c	・事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	
	4 等比数列	2			
	5 等比数列の和	4		・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
	第2節 いろいろな数列		a	・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。	
	6 和の記号 Σ	3	b	・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。	
	7 階差数列	3			
	8 いろいろな数列の和	3	c	・事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	
				・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

	第3節 漸化式と 数学的帰納法				行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
	9 漸化式	5	a	・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表現したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ・数学的帰納法について理解している。	
	10 数学的帰納法	5	b	・自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。	
			c	・事象を確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1 確率変数と 確率分布	4	a	・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。	行動観察 ワークシート レポート 課題提出 小单元テスト など
	2 確率変数の 期待値と分散	5	b	・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。	
	3 確率変数の 和と積	4			

	4 二項分布	3	c	・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
	5 正規分布	7			
	第2節 統計的な推測				
	6 母集団と標本	3	a		
	7 標本平均の分布	3	b		
	8 推定	4		・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 ・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	
	9 仮説検定	5			
	総探①②③④		c		
				・事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

令和7年度年間計画

教科	理科	学年	2	使用教材	化学基礎
科目	化学基礎	単位	2		ニューサポート新編化学基礎

1 科目の目標（学習指導要領より）

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	
(1)	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。
(2)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
B	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
C	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

3 学習方法

- 授業中は説明や指示を集中して聞き、教科書を読んでも分からない場合や疑問に感じたことは積極的に質問する。 - ノートは後で自分が復習するために、自分にとって分かりやすいノートを作成する。（板書のコピーではなくオリジナルなノートをつくる）
--

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	1 編 化学と人間生活				
	1 章 化学とは何か	2	a	物質の成分と構成元素について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
	2 章 物質の成分と構成 元素 総探②	10	b	物質の成分と構成元素について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	物質の成分と構成元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 編 物質の構成				
	1 章 原子の構造と元素 の周期表	11	a	原子の構造と元素の周期表について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	原子の構造と元素の周期表について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	原子の構造と元素の周期表に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 章 化学結合	12	a	化学結合について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の 態度 ノートの内容
			b	化学結合について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	化学結合に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	3 編 物質の変化				
	1 章 物質と化学反応式	1 5	a	物質と化学反応式について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	物質と化学反応式について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	2 章 酸と塩基	1 0	a	酸と塩基について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	酸と塩基について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	酸と塩基に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	3 章 酸化還元反応 総探②③④	1 0	a	酸化還元反応について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	酸化還元反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト

令和7年度年間計画

教科	理科	学年	2	使用教材	生物
科目	生物	単位	2		リード light ノート生物

1 科目の目標（学習指導要領より）

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	
(1)	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
B	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
C	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 学習方法

- 授業中は説明や指示を集中して聞き、教科書を読んでも分からない場合や疑問に感じたことは積極的に質問する。 - ノートは後で自分が復習するために、自分にとって分かりやすいノートを作成する。（板書のコピーではなくオリジナルなノートをつくる） - 副教材は知識の定着や確認のために活用する。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前期	第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 総探②③④	25	a	動物の反応と行動について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	動物の反応と行動について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	動物の反応と行動について主体的に学習し、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
	第6章 植物の環境応答	8	a	a 植物の環境応答について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	植物の環境応答について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	植物の環境応答の学習に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト
学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後期	第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系	25	a	物質と化学反応式について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	物質と化学反応式について観察、実験などを通して探究し、その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元テスト

				る。	
	1 編 生物の進化 1 章 生命の起源と細胞の進化"	15	a	生命の起源と細胞の進化について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	授業・実験の態度 ノートの内容
			b	生命の起源と細胞の進化について観察，実験などを通して探究し，その特徴を見いだして表現している。	レポート
			c	生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元テスト

令和7年度年間計画

教科	保健体育	学年	2	使用 教材	現代高等保健体育
					現代高等保健体育ノート
科目	体育	単位	3		

1 科目の目標（学習指導要領より）

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
B	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
C	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

3 学習方法

①学校指定ジャージを着用する。
②授業で使用するワークシートに記録し提出する。
③授業で設定する課題解決に向けて努力する。
④課題提出を求められたときは、期限までに提出する。
⑤わからないことは積極的に質問し解決できるよう心がける。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	陸上競技・体づくり運動 （長中距離） 総探① 総探② 総探③	1 2	a	①陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②陸上競技の運動種目によって必要な体力要素があり、その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしててる。 ④競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a	①自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走るこ	観察 その他

			ができる。	
		b	①選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や競技会の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習や競技会の場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	観察 ワークシート 記述 その他
		c	①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
陸上競技・体づくり運動 (短距離・リレー) 総探①	18	a	①陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる	観察 ワークシート 記述

	総探② 総探③			る重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②陸上競技の運動種目によって必要な体力要素があり、その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりして る。 ④競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	その他
			a	①高いスピードを維持して走る中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができる。 ②最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることができる。 ③リレーでは、大きな利得距離を得るために、両走者がスピードにのり、十分に腕を伸ばした状態でバトンを渡すことができる。	観察 その他
			b	①選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。	観察 ワークシート 記述 その他

				③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や競技会の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習や競技会の場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
			c	①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
	体づくり運動 総探① 総探② 総探③	8	a	①体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを言ったり書き出したりしている。 ②体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他

				③実生活への取り入れ方には、自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを言ったり書き出したりしている。 ④課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践、学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。	
			a	①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ③緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ④いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ⑤仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。 ⑥体調の維持などの健康の保持増進をねらいとして、各種の有酸素運動や体操などの施設や器具を用いず手軽に行う運動例や適切な食事や睡眠の管理の仕方を取り入れて、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むことが	観察 その他 ワークシート 記述

				できる。 ⑦生活習慣病の予防をねらいとして、「健康づくりのための身体活動基準 2013」（厚生労働省運動基準の改定に関する検討会平成 25 年 3 月）などを参考に、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むことができる。 ⑧調和のとれた体力を高めることをねらいとして、体力測定の結果などを参考に、定期的に運動の計画を見直して取り組むことができる。 ⑨競技力の向上及び競技で起こりやすいけがや疾病の予防をねらいとして、体力の構成要素を重点的に高めたり、特に大きな負荷のかかりやすい部位のけがを予防したりする運動の組合せ例を取り入れて、定期的に運動の計画を見直して取り組むことができる。	
			b	①生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ②運動に取り組む場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ③一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 ④課題解決に向けて話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保し	観察 ワークシート 記述 その他

				ている。	
	体育理論(2)運動やスポーツの効果的な学習の仕方 総探②	3	a	①運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを言ったり書き出したりしている。 ②運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを言ったり書き出したりしている。 ③運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを言ったり書き出したりしている。 ④運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 観察 その他
			b	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を	観察 ワークシート 記述

				予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	
			c	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述
	球技・選択制 (ゴール型・ネット型) 総探① 総探②	1 6	a	①球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ②課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ③競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他
			a	①防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。 ②味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ③空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 ④守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすることができる。 ⑤隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすことができる。 ⑥自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ⑦シュートやトライをしたり、パ	

				スを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 ⑧侵入する空間を作り出すために、チームの作戦に応じた移動や動きをすることができる。 ⑨得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをすることができる。 ⑩チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 ⑪味方が抜かれた際に、攻撃者を止めるためのカバーの動きをすることができる。 ⑫一定のエリアから得点しにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動きをすることができる。	
			a	①サービスでは、ボールに変化をつけて打つことができる。 ②ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすることができる。 ④変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。 ⑤移動を伴うつなぎのボールに対応して、攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にトスを上げることができる。 ⑥仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 ⑦ボールをコントロールして、ネ	

				ットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ⑧チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。	
			b	①選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ③チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ⑥チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ⑦チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ⑧体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑨球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
			c	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②フェアなプレイを大切にしようとしている。 ③作戦などを話し合う場面で、合	観察 ワークシート 記述 その他

			意形成に貢献しようとしている。 ④一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ⑤仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ⑥危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	
--	--	--	--	--

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	器械運動（跳び箱運動） 総探① 総探② 総探④	20	a	①器械運動では、技の系、技群、グループの系統性の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②器械運動の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。 ③課題解決の方法では、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、演技や発表を通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ④自己の能力に応じた技で組み合わせたり、異なる技群で構成したりするなどの発表に向けた演技構成の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ⑤発表会や競技会で、演技構成の	観察 ワークシート 記述 その他

				仕方、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを言ったり書き出したりしている。	
		a	①新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ②着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ③学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ④新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ⑤着手位置、姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ⑥学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す）	観察 その他	
		b	①選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。	観察 ワークシート 記述 その他	

				③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や演技の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤グループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに器械運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦器械運動の学習成果を踏まえ、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	
			c	①器械運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②自己の状況にかかわらず、よい演技を讃えようとしている。 ③自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
	ダンス（創作ダンス） 総探① 総探② 総探④	16	a	①ダンスでは、各ダンスで用いられる名称や用語があり、それぞれのダンスには、表現や踊りにつながる重要な動きや空間の使い方などのポイント及び安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを言ったり書き出したりしている。 ②それぞれのダンスには、特有の文化的背景とそれに応じた表現の仕方があることを言ったり書き出したりしている。	観察 ワークシート 記述 その他

				③交流や発表の仕方には、それぞれのダンスに応じた交流や発表の形態、ステージの使い方、音響や衣装などのテーマに応じた選び方があることを言ったり書き出したりしている。 ④課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、交流や発表などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを言ったり書き出したりしている。 ⑤ダンスの特性によって必要な体力要素があり、そのダンスの技能に関連させながら体力を高めることができることを言ったり書き出したりしている。	
			a	身近な生活や日常動作（「ただ今、猛勉強中」、シャッターチャンス、クラス 討論 など） ・ 「ただ今、猛勉強中」などと題して、本を読む、書く、考えるなどの動きを猛スピードで繰り返したり、スローモーションで動いたりするなどの変化を付けて表現することができる。 B 対極の動きの連続（伸びる―落ちる―回る・転がる など） ・ 「伸びる―落ちる―回る・転がる」では、体をゆっくりとした動作で極限まで伸ばし、瞬間的に脱力して床に崩れ落ち、ゆっくりと回る・転がるなどのひと流れの動きをしたり、歩く・走るなどのつなぎの動きを入れて繰り返したりして表現することができる。 C 多様な感じ（激しい・静かな、急変する・持続する、鋭い・	観察 その他

			柔らかい、素早い・ゆっくりしたなどの多様な感じの中から対照的な感じを表現する) ・ 「声にならない叫び」などと題して、多様な感じの中から「静かな」と「激しい」といった対照的な感じを捉え、こみ上げる感情を抑えている様子を、こぶしを握る、胸を抱えるなどの静かな動きと、素早く回って床をたたく、鋭く伸びる、足を踏み鳴らす、ジャンプして転がるなどの激しい動きで、緩急強弱を付けて表現することができる。 D 群(集団)の動き(カノン、ユニゾン、密集一分散、列や円など) ・ 2～3群に分かれてタイミングをずらした動き(カノン)、全体で統一した動き(ユニゾン)、密集一分散、縦・横・斜めの列や円に並ぶなど、群の動きや隊形を工夫して空間が変化するように表現することができる。 E もの(小道具)を使った動き(大きな布、机、ティッシュペーパー、新聞紙のボールなど質感や大きさの異なる「もの」を取り上げる) ・ 大きな布では、布の中に隠れる・出る、布をまるめる・広げる・揺らすなど、「もの」を使って、形状に変化を付けた動きで表現することができる。 F はこびとストーリー(気に入った小説、詩、絵画などのテーマから作品をまとめる) ・ 気に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面にふさわしい「緩急強弱のあるひと流れの動き」で表現して、繰り返しや時間・力・空間の変化と強調によって、ダイナ	
--	--	--	--	--

				ミックな盛り上がりを付けて作品にまとめて踊ることができる。	
			b	①選択したダンスについて、自己や仲間の動きや表現を分析して、良い点や修正点を指摘している。 ②課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ③自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ④練習や交流及び発表の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ⑤仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを越えて、仲間とともにダンスを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。 ②仲間の表現や踊りを認め合うなど、互いに共感し高め合おうとしている。 ③作品づくりなどの話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ④一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。 ⑤危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	観察 ワークシート 記述 その他
	球技（ターゲット型）	8	a	①カーリングを多様に実践するための事項を言ったり書き出したり	観察 ワークシート

				している。 ②カーリングを通してスポーツを推進及び発展するための事項を言ったり書き出したりしている。	記述 その他
			a	①カーリングの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ②他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できる。 ③危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができる。 ④体力や技能の程度、性別や目的、障害の有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できる。 ⑤競技会などの目的に応じた企画や運営ができる。	観察 その他
			b	①発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ②映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ③練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ④チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ⑤チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。 ⑥体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにカーリ	観察 ワークシート 記述 その他

				ングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ⑦カーリングを行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘したりしている。 ⑧多様（目的、年齢、性別、経験、障害の有無など）な参加者と共に運動するための調整の仕方や競技会の運営方法等を提案している。 ⑨運動やスポーツを継続したり、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。 ⑩スポーツの推進及び発展に向けた視点から、自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。	
			c	①公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもっている。 ②多様性・共生などのスポーツを通した共生社会の実現に寄与する学習に意欲をもっている。 ③地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもっている。	観察 ワークシート 記述 その他
	体育理論(2)運動やスポーツの効果的な学習の仕方 総探②	4	a	①運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能	ワークシート 記述 観察 その他

				性があることを言ったり書き出したりしている。 ②運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを言ったり書き出したりしている。 ③運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを言ったり書き出したりしている。 ④運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを言ったり書き出したりしている。	
			b	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	観察 ワークシート 記述
			c	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述

令和7年度年間計画

教科	保健体育	学年	2	使用 教材	現代高等保健体育
					現代高等保健体育ノート
科目	保健	単位	1		

1 科目の目標（学習指導要領より）

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。	
(1)	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
(2)	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3)	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
B	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
C	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

3 学習方法

①授業で使用するワークシートに記録し提出する。
②授業で設定する課題解決に向けて努力する。
③課題提出を求められたときは、期限までに提出する。
④わからないことは積極的に質問し解決できるよう心がける。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	（３）生涯を通じる健康				
	（ア）生涯の各段階における健康 総探① 総探② 総探③ 総探④	15	a	①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを言ったり書き出したりしている。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを言ったり書き出したりしている。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて言ったり書き出したりしている。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響や、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを言ったり書き出したりしている。 ③中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家	ワークシート 記述 その他

			族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを言ったり書き出したりしている。また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて言ったり書き出したりしている。	
		b	①生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ③結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ④加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ⑤生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
		c	①生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他

	(イ) 労働と健康 総探① 総探② 総探③	5	a ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できるようにする。 また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを言ったり書き出したりしている。 ②働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを言ったり書き出したりしている。働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 その他
			b ①生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ③働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ④生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合っ	観察 ワークシート 記述 その他

			たり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
		c	①生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	(4) 健康を支える環境づくり			
	(ア) 環境と健康 総探① 総探② 総探③ 総探④	6	a ①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて言ったり書き出したりしている。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて言ったり書き出したりしている。 また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて言ったり書き出したりしている。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて言ったり書き出したりしている。 また、その現状、問題点、対策などを総合的に把握し改善していかなければならないことについて、安全で良質な水の確保や廃棄物の処理と関連付けて言ったり書き出し	ワークシート 記述 その他

				たりしている。	
			b	①健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 ③健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他

学期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後期	(4) 健康を支える環境づくり				
	(イ) 食品と健康 総探① 総探② 総探③	3	a	①人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて言ったり書き出したりしている。 ②食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制	ワークシート 記述 その他

			定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて言ったり書き出したりしている。また、食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて言ったり書き出したりしている。	
		b	①食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
		c	①健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 総探① 総探② 総探③	4	a ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて言ったり書き出したりしている。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健	ワークシート 記述 その他

				所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて言ったり書き出したりしている。 ③医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できるようにする。また、疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて言ったり書き出したりしている。	
			b	①医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 ②地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 ③健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	(エ) 様々な保健活動や	1	a	①我が国や世界では、健康を支え	ワークシート

	社会的対策 総探① 総探② 総探③			るために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて言ったり書き出したりしている。	記述 その他
			b	①ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	観察 ワークシート 記述 その他
			c	①健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他
	(オ) 健康に関する環境づくりと社会参加 総探① 総探② 総探③	1	a	①自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて言ったり書き出したりしている。 また、一人一人が健康に関心を持ち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるについて言ったり書き出したりしている。	ワークシート 記述 その他
			b	①ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法	観察 ワークシート 記述 その他

				と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
			c	①生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 記述 その他

令和7年度年間計画

教科	外国語	学年	2	使用教材	Power On English Communication II
					改訂第2版 キクタン【Basic】4000語レベル
科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	5		

1 科目の目標（学習指導要領より）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
(1)	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。
B	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。
C	外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

3 学習方法

基礎的な単語力と文法力を定着させ、伸ばすためには、繰り返し取り組むことが重要です。そのためにも積極的に家庭での学習に取り組むことが重要になります。また、あらゆる学習活動を通じて、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする姿勢が重要です。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	Lesson 1 Play me, I'm Yours	15	a	ストリートピアノと人々・社会との かわりについて、話し手・書き手 の意図に応じて捉えることができ る。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	ストリートピアノと人々・社会との かわりについて、聞いたり読んだり したことを活用しながら、情報や 自分の考えなどを詳しく話したり書 いたりして伝えている。	
			c	ストリートピアノと人々・社会との かわりについて、聞いたり読んだり したことを活用しながら、情報や 自分の考えなどを詳しく話したり書 いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 2 Ethical Fashion 単元テスト	15	a	エシカルファッションについて、話 し手・書き手の意図に応じて捉える ことができる。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	エシカルファッションについて、聞 いたり読んだりしたことを活用しな がら、情報や自分の考えなどを詳しく 話したり書いたりして伝えている。	
			c	エシカルファッションについて、聞 いたり読んだりしたことを活用しな がら、情報や自分の考えなどを詳しく 話したり書いたりして伝えようとし ている。	

	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem 総探 ①②③④	30	a 納豆パウダーの開発の経緯と発展途上国への影響について、話し手・書き手の意図を目的に応じて捉えることができる。 b 和食についての理解を深め、強調構文など学んだことを活用しながら、情報や自分の考えなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝えている。 c 和食についての理解を深め、強調構文など学んだことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	単語テスト 発表 課題提出
	Lesson 3 One for All, All for One	15	a ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。 b ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 c ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue 単元テスト	15	a ブレイルノイエについて、話し手、書き手の意図に応じて捉えることができる。 b ブレイルノイエについて、聞いたり読んだことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 c ブレイルノイエについて、聞いたり読んだことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	Lesson 6 New Banknotes	15	a	新紙幣とキャッシュレス社会について、話し手・書き手の意図を目的に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	新紙幣とキャッシュレス社会について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	新紙幣とキャッシュレス社会について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 7 Some Secrets about Colors 単元テスト	15	a	色の心理的効果について、話し手・書き手の意図を目的に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	色の心理的効果について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 4 Vending Machines Poster Session "School Trip" 総探 ②③④	25	a	日本と海外の自動販売機について、話し手・書き手の意図に応じて捉えることができる。	単語テスト 発表 課題提出
			b	活動を通して学校生活の話題について英語で情報や考えなどの意図などを的確に表現したり、伝え合ったりしている。	
			c	活動を通して学校生活の話題について英語で情報や考えなどの意図などを的確に表現したり、伝え合おうとしている。	

	Lesson 9 Flying after Her Dreams	15	a	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、話し手・書き手の意図を目的に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots 単元テスト	15	a	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、話し手・書き手の意図を目的に応じて捉えることができる。	単語テスト 単元テスト 発表 課題提出
			b	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	
			c	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	

令和7年度年間計画

教科	商業	学年	2	使用教材	ビジネス基礎
					全経・電卓計算能力検定試験準拠電卓計算3級直前模試
科目	ビジネス基礎	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3)	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
B	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
C	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3 学習方法

①ワークシートを使用し、基本的な知識を習得するとともに必要に応じてレポートを作成し、協働的に学んだり発表を行う。
②ビジネスで行われる仕入原価や利息などの基本的な計算方法について学ぶ。
③学習における課題に対して、どのように思考し、判断し、解決したかを、レポートやワークシートなどにまとめる。

4 年間学習計画 (a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度)

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス	9	a	商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について理解している。	単元テスト ワークシート レポート
			b	商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。	
			c	ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第2章 ビジネスとコミュニケーション（総探②） 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用	8	a	ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	
前 期			b	ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。	単元テスト ワークシート レポート
			c	情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	8	a	経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。	
			b	経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
前 期			c	経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	単元テスト ワークシート レポート
	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業	3	a	ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。	
			b	流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第4章 さまざまなビジネス 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業	7	a	ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。	単元テスト ワークシート レポート
			b	流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第5章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用	10	a	企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。	
			b	企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
後 期	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済	8	a	取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。	単元テスト ワークシート レポート
			b	取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	10	a	ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。	
			c	ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
後 期	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	7	a	さまざまな地域のビジネスについて理解している。	単元テスト ワークシート レポート
			b	身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。	
			c	身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

令和7年度年間計画

教科	商業	学年	2	使用教材	新簿記
					令和7年度版簿記能力検定試験過去問題集 基礎簿記会計
科目	簿記	単位	2		

1 科目の目標（学習指導要領より）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
(3)	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
B	ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
C	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3 学習方法

①ワークシートを使用し、基本的な知識を習得するとともに必要に応じてレポートを作成し、協働的に学んだり発表を行う。
②基本的な知識をもとに、仕訳や帳簿作成を行う。
③見通しを持って課題に取組み、期限までに提出する。
④单元ごとに学んだことの繋がりを意識し、小テスト（单元テスト）に向け計画的に取り組む。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎	3	a	簿記の基礎的な知識を身に付けたか。	単元テスト ワークシート レポート
			b	簿記を学ぶことの意義と必要性を考えたか。	
			c	企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。	
	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	4	a	資産・負債・純資産（資本）の種類、貸借対照表の構造や役割、財産法の仕組みを理解したか。	
			b	簿記の基礎概念として資産・負債・純資産が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。	
			c	資産・負債・純資産（資本）や貸借対照表について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。	
	第3章 収益・費用と損益計算書	3	a	収益・費用の種類、損益計算書の構造や役割、損益法の仕組みを理解したか。	
			b	簿記の基礎概念として収益・費用が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。	
			c	収益・費用や損益計算書について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。	
	第4章 取引と勘定	2	a	簿記上の取引の意味を理解しているか。	
			b	取引の分解と勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。	
			c	貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。	

	第5章 仕訳と転記	2	a 仕訳の手順を理解しているか。 b 転記について適切に判断し、正確におこなえているか。 c 企業の取引を仕訳することに関心を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組もうとしたか。	単元テスト ワークシート レポート
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳	4	a 仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解しているか。 b 仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえているか。 c 企業の取引を帳簿に記入することに関心を示し、記録を正確に行うことの大事さに関心を示したか。	
	第7章 試算表	4	a 試算表の意味との作成法を理解しているか。 b 試算表の種類について思考し、適切に作成できたか。 c 試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心を持ち、把握するような態度を示したか。	
	第8章 精算表	3	a 精算表の意味との作成法を理解しているか。 b 精算表の作成方法について思考し、適切に作成できたか。 c 試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心を持ち、把握するような態度を示したか。	
	第9章 決算	6	a 決算の一連の手続きについて理解したか。貸借対照表と損益計算書の作成方法を理解したか。 b 資産・負債・資本の勘定と収益・費用の勘定の違いについて思考し、適切に勘定を締め切ることができるか。 c 決算がなぜ必要かについて関心を持ち、自ら学習する態度を示したか。	

	第2編 取引の記帳（その1） 第10章 現金・預金などの取引	3	a 現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 b 現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。 c 現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	単元テスト ワークシート レポート
	第11章 商品売買の取引		a 商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 b 3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。 c 商品売買の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。	
	第12章 掛け取引		a 掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 b 掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。 c 掛け取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第4章 さまざまなビジネス 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業	7	a	ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。	単元テスト ワークシート レポート
			b	流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第5章 企業活動の基礎 1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用	10	a	企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。	
			b	企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
後 期	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済	8	a	取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。	単元テスト ワークシート レポート
			b	取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	
			c	取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	10	a	ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけている。	
			c	ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
後 期	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	7	a	さまざまな地域のビジネスについて理解している。	単元テスト ワークシート レポート
			b	身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。	
			c	身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

令和7年度年間計画

教科	商業	学年	2	使用教材	情報処理
					情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 3級編
科目	情報処理	単位	2		情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 2・準2級編

1 科目の目標（学習指導要領より）

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2)	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3)	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	ビジネスにおいて役立てることができる情報を、収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。
B	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。
C	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。

3 学習方法

①実習を行い、情報を適切に読み取り表現することを定着させる。
②ワークシートを使用し、基本的な知識を習得するとともに必要に応じてレポートを作成する。
③期限までに見通しを持って課題を提出する。
④单元テストに向け、計画的に課題に取り組む。

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	第1章「企業活動と情報処理」 ①情報処理の重要性とその活用 ②情報の収集・処理・分析（総探②） ③情報処理の進歩と情報システムの活用 ④情報処理にかかわる職業	22	a	現代のビジネスを支える情報システムに関する具体的な事例を通して、情報システムがどのような技術によって支えられているのかを理解している。情報処理に関わる職業や、情報社会を支える仕事について理解している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
			b	ビジネスにおいて情報を効果的に活用するための情報処理の方法について考えようとしている。	
			c	情報処理の重要性について関心を持ち、情報処理について主体的に学習しようとしている。	
	第2節「コミュニケーションと情報デザイン」 ①情報デザインの重要性 ②情報デザインの構成要素 ③色彩が持つ情報		a	情報デザインがどのような構成要素によって成り立っているのかを理解している。	
			b	身の回りの具体的な事例を踏まえて、色彩が人々の心理にどのような影響を与えているのかを考えようとしている。	
			c	情報デザインによってコミュニケーションを促進することができることを踏まえ、情報デザインについて主体的に学習しようとしている。	
	第4章「ビジネス文書の作成」 第1節「文章の表現」 ①わかりやすい文章 ②文章構成の工夫 ③敬語表現の必要性		a	伝えたい情報を効果的に伝えることができる文書表現について理解している。敬語表現について理解している。	
			b	さまざまな文章を比較することで、どのような文章や表現方法が分かりやすいのかを考えようとしている。	
			c	同じ内容でも、文章の作成方法によって伝わりやすさや分かりやすさが異なってくることを理解し、伝わりやすい文章を書く方法を主体的に学習しようとしている。	

	第3節「情報モラル」 ①情報モラル ②知的財産の保護と管理 ③個人情報の保護と管理		a 情報モラルとは何か、情報モラルを守るためにはどのようなことに気を付ければよいか、などについて理解している。知的財産の種類やそれぞれの具体的内容について理解している。個人情報の構成要素や保護方法について理解している。 b 情報モラルに関する課題がある具体的な事例について、その問題点と解決方法を考え、表現しようとしている。 c 情報社会において、情報モラルを守ることの重要性を理解したうえで、情報モラルをさまざまな場面で実現していこうとする態度を形成できている。	
	第2章「コンピュータシステムと情報通信ネットワーク」 第1節「コンピュータシステムの概要」 ①コンピュータの基本的な機能と五大装置 ②パソコンのハードウェア ③データの表現と処理のしくみ ④パソコンのソフトウェア ⑤ファイル管理	26	a コンピュータがどのような構成要素によって成り立っているのかを理解している。コンピュータを構成する各装置の特徴について理解している。コンピュータの機能を実現するためのソフトウェアについて、その種類や特徴を理解している。ファイル管理の方法について理解し、関連する技術を習得している。 b コンピュータのデータ表現方法について、文字コードなどの具体的な事例を踏まえて考え、表現しようとしている。 c コンピュータシステムの仕組みについて、主体的に学習しようとしている。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
	第2節「情報通信ネットワークのしくみと構成」 ①情報通信ネットワークのしくみと構成 ②LANの種類と特徴 ③インターネット ④情報システムで提供されるサービス		a 情報通信ネットワークを構成する機器の種類や特徴について理解している。インターネットの基本的な仕組みや接続方法について理解している。 b 情報通信ネットワークを利用することで、どのようなことが実現可能になるのか、具体的な事例を踏	

			c	まえて考え、表現しようとしている。 情報通信ネットワークが実現する利便性や、情報通信ネットワークの仕組みについて、主体的に学習しようとしている。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
	第2節「表・グラフの作成と表計算ソフトウェアの特徴」 ①表とグラフの基礎 ②ー1 表計算ソフトウェアの基礎 ②ー2 表計算ソフトウェアのグラフ作成		a	表の種類や、表の構成要素について理解している。グラフの種類や、グラフの構成要素について理解している。表計算ソフトウェアの特徴や画面構成について理解し、基本的な操作方法を習得している。SUM 関数、IF 関数などの、情報を処理するための基本的な関数について、それぞれの特徴を理解し、使用するための技術を習得している。表計算ソフトウェアを用いてグラフを作成するための技術を習得している。	
			b	目的や情報の種類に応じて、どのグラフが適切なのかを考え、選択しようとしている。	
			c	表やグラフを用いることによって、情報を視覚的に分かりやすく表現することが可能となることを理解し、主体的にその方法などを学習しようとしている。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	第4節「情報セキュリティの確保」 ①情報セキュリティとその重要性 ②情報セキュリティを脅かすリスク ③情報セキュリティを確保する方法	26	a	情報セキュリティを脅かすリスクにはどのようなものがあるのかを理解している。 ・情報セキュリティを確保するための方法にはどのようなものがあるのかを理解している。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
	第5章「プレゼンテーション」 第1節「プレゼンテーションの技法」 ①プレゼンテーションとは ②話し方の技術 ③機器の活用 ④プレゼンテーションの準備	22	b	個人や企業が守るべき情報にはどのようなものがあるのかを考えようとしている。情報セキュリティに関して課題のある場面において、どのようにすれば情報セキュリティを確保することができるのかを考えようとしている。	
			c	個人や企業が情報セキュリティについて配慮することの重要性を理解し、情報セキュリティを確保する方法について主体的に学習しようとしている。	
			a	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションにはどのような種類があるのかを理解している。相手に伝わりやすい話し方の技術について理解している。プレゼンテーションを効果的に行うための機器について、特徴や使用方法を理解している。プレゼンテーションを行うための事前準備において行うべきことを理解している。	
			b	プレゼンテーションにおいて、どのような表現を用いればより効果的に情報を伝えることができるのかを考え、表現しようとしている。実際の事例に基づいて、知識を活用し、プレゼンテーションの準備を適切に行おうとしている。	
			c	効果的なプレゼンテーションを行うための方法について、主体的に学習しようとしている。	

	第2節「プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用」 ①プレゼンテーションソフトウェアの活用 ②提示資料の作成 ③効果的なスライドの設定 ④スライドの実行とシナリオの作成		a プレゼンテーションソフトウェアの特徴や画面構成について理解し、基本的な操作方法を習得している。プレゼンテーションソフトウェアを用いてスライドを作成するための技術を習得している。背景デザイン、アニメーション、図解などの、プレゼンテーションを効果的に演出するための技術を習得している。プレゼンテーションソフトウェアを用いて実際にプレゼンテーションを行うための技術を習得している。 b 効果的に情報を伝えるために、どのようなスライドを作成すればよいのかを考え、表現しようとしている。 c プレゼンテーションソフトウェアを適切に活用することができれば、より効果的なプレゼンテーションを実現することができることを理解し、そのための方法を主体的に学習しようとしている。	小テスト ワークシート 観察、ワークシート
--	--	--	---	--------------------------------------

令和7年度年間計画

教科	総合的な探究の時間	学年	2	使用教材	
科目	アイヌ文化Ⅱ	単位	1		

1 科目の目標（学習指導要領より）

探究の見方・考え方を働かせて、横断的・総合的にアイヌ文化を学習することを通じて、自己の在り方生き方を考えながら、多文化共生社会の実現に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
(1)	アイヌ文化の知識及び技能を身に付け、多文化共生社会の意義と価値を理解する。
(2)	アイヌ文化と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3)	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、アイヌ文化の価値を創造し、多文化共生社会を実現しようとする態度を養う。

2 評価の観点およびその趣旨（A 知識・技能 B 思考・判断・表現 C 主体的に学習に取り組む態度）

A	アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。
B	アイヌ工芸の作品制作等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。
C	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとする態度を養う。

3 学習方法

・学んだことをノートやタブレットなどに記録する。 ・課題に取り組み、期限内に提出する。
--

4 年間学習計画（a 知識・技能 b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度）

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
前 期	オリエンテーション	1	a	アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。	・ペアワーク ・グループワーク ・ワークシート ・工芸作品 ・振り返りシート
	アイヌ語	5			
	アイヌ語の歌、踊り	3			
	作製場所等の見学	2			
	アイヌ工芸（コース別）	2			
			b	アイヌ工芸の作品制作等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。	
			c	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとする態度を養う。	

学 期	単元・内容	授業 時数	単元の評価基準		評価方法
後 期	ハワイ海外研修	3	a	アイヌ語やアイヌ工芸を通して、多文化共生社会の実現に必要な知識及び技能を身に付け、多文化共生に関わる概念を形成し、多文化共生の意義と価値を理解している。	・ペアワーク ・グループワーク ・ワークシート ・工芸作品 ・振り返りシート
	アイヌ工芸（コース別）	10			
	アイヌ語	3			
	他校種との交流	2			
	アイヌ工芸作品発表会	2			
			b	アイヌ工芸の作品制作等を通し、自己の考えをまとめたり、表現している。	
			c	アイヌ文化に主体的・協働的に取り組むとともに、アイヌ文化に関心を持ち、多文化共生社会を実現しようとする態度を養う。	